



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベリサーブ

コード番号 3724 URL <http://www.veriserve.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浅井 清孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員

(氏名) 高橋 豊

TEL 03-5909-5700

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,749	—	78	—	102	—	48	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 49百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	1,863.71	—
23年3月期第2四半期	—	—

平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,242	4,661	88.9
23年3月期	—	—	—

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 4,661百万円 23年3月期 1百万円

平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	1,000.00	—	1,500.00	2,500.00
24年3月期	—	1,000.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	2,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,500	—	350	—	370	—	180	—	6,900.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期より四半期連結財務諸表を作成しているため、増減率については記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	26,084 株	23年3月期	26,084 株
24年3月期2Q	0 株	23年3月期	0 株
24年3月期2Q	26,084 株	23年3月期2Q	25,881 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、当第1四半期連結累計期間より「百力服軟件測試(上海)有限公司」を連結子会社とし、四半期連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提条件その他の関連する事項につきましては、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(7) 重要な後発事象	7
5. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第1四半期連結累計期間より「百力服軟件測試（上海）有限公司」を連結子会社とし、四半期連結財務諸表を作成しております。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により甚大な被害がでているものの、サプライチェーンの復旧、自粛ムードの緩和、公的機関における震災復旧の取り組みなど、足元にかけては持ち直しの動きが進んでおります。

しかしながら、欧米の景気減速に伴い急速な円高が進行しており、輸出産業では大きな影響を受け、先行きは不透明な状況にあります。

当社を取り巻く環境といたしましては、製造業ではサプライチェーンの復旧とともに、生産活動についても回復してきておりますが、夏季の節電対策による輪番操業などの対策も行われており、企業活動は大きな影響を受けております。

このような中、当社では主力サービス分野である開発支援検証サービスを中心に事業活動を推進し、自動車分野、デジタル家電分野においては、売上高が堅調に推移いたしました。

加えて、より安心・安全を求められる製品や医療機器、産業機器において検証業務が増加いたしました。

一方、クラウドサービスなどにおける検証業務への取り組みもはじめており、従来の組込み分野以外の顧客開拓もすすめております。

ソフトウェアの品質問題は、公的機関でも取り上げられつつあり、ソフトウェア品質に対するアカウントビリティの確保は、もはや避けて通ることのできない問題となっております。

当社では、こうした社会的問題への提起として、第三者検証サービスをアピールしていきたいと考えており、9月には、ソフトウェアの品質問題を取り上げた「第11回システム検証セミナー」を開催するなど、検証事業の知名度向上を目指した活動もすすめております。

以上のような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,749,044千円、営業利益は78,276千円、経常利益は102,892千円、四半期純利益は48,613千円となりました。

なお、サービス別の業績につきましては、後述の「5. 補足情報（1）生産、受注及び販売の状況」をご参照下さい。

※ 当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比については記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第2四半期連結累計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

（資産の部）

流動資産合計は、4,832,071千円となりました。その主な内訳といたしましては、現金及び預金3,708,764千円及び売掛金935,601千円です。

固定資産合計は、410,386千円となりました。その主な内訳といたしましては、有形固定資産77,086千円、無形固定資産130,570千円、敷金及び保証金148,553千円です。

以上の結果、資産合計は、5,242,458千円となりました。

（負債の部）

流動負債合計は、563,761千円となりました。その主な内訳といたしましては、買掛金135,135千円、未払費用119,781千円及び賞与引当金197,463千円です。

以上の結果、負債合計は、581,218千円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、4,661,239千円となりました。その主な内訳といたしましては、資本金792,102千円、資本剰余金775,852千円及び利益剰余金3,097,745千円です。

※ 当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前事業年度末比については記載しておりません。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、3,708,764千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益(102,892千円)等により増加したものの、仕入債務の減少(33,200千円)及び法人税等の支払(114,249千円)等により、当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果、減少した資金は23,997千円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

無形固定資産の取得(31,144千円)等により減少したものの、敷金及び保証金の回収による収入(36,786千円)等により、当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果、増加した資金は2,118千円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払により、当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果、使用した資金は39,279千円となりました。

※ 当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比については記載しておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間においては、製造業で影響を受けたサプライチェーンが短期間で回復したことにより、売上が従来予想を上回りました。結果として、営業利益及び経常利益、四半期純利益につきましても従来予想を上回る実績となっております。

通期予想につきましては、回復基調で推移すると予想しておりますが、円高等による製造業への影響が不透明であるため、現時点においては、平成23年7月28日に公表いたしました通期の業績予想を据え置いております。

詳細につきましては、平成23年10月27日公表の「平成24年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
 (平成23年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,708,764
売掛金	935,601
仕掛品	9,396
前払費用	54,557
繰延税金資産	102,837
その他	20,914
流動資産合計	4,832,071
固定資産	
有形固定資産	77,086
無形固定資産	130,570
投資その他の資産	
投資有価証券	35,000
繰延税金資産	16,278
敷金及び保証金	148,553
その他	2,898
投資その他の資産合計	202,730
固定資産合計	410,386
資産合計	5,242,458
負債の部	
流動負債	
買掛金	135,135
未払金	10,958
未払費用	119,781
未払法人税等	56,297
未払消費税等	28,346
預り金	14,983
賞与引当金	197,463
その他	795
流動負債合計	563,761
固定負債	
退職給付引当金	14,257
役員退職慰労引当金	3,200
固定負債合計	17,457
負債合計	581,218
純資産の部	
株主資本	
資本金	792,102
資本剰余金	775,852
利益剰余金	3,097,745
株主資本合計	4,665,700
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△4,461
その他の包括利益累計額合計	△4,461
純資産合計	4,661,239
負債純資産合計	5,242,458

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,749,044
売上原価	1,956,537
売上総利益	792,506
販売費及び一般管理費	714,230
営業利益	78,276
営業外収益	
受取利息	1,584
助成金収入	26,415
その他	685
営業外収益合計	28,686
営業外費用	
為替差損	4,070
営業外費用合計	4,070
経常利益	102,892
税金等調整前四半期純利益	102,892
法人税、住民税及び事業税	43,216
法人税等調整額	11,062
法人税等合計	54,278
少数株主損益調整前四半期純利益	48,613
少数株主利益	—
四半期純利益	48,613
少数株主利益	—
少数株主損益調整前四半期純利益	48,613
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	534
その他の包括利益合計	534
四半期包括利益	49,147
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	49,147
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	102,892
減価償却費	30,886
引当金の増減額(△は減少)	△6,346
受取利息	△1,584
助成金収入	△26,415
売上債権の増減額(△は増加)	10,269
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,004
仕入債務の増減額(△は減少)	△33,200
前払費用の増減額(△は増加)	△2,335
未払費用の増減額(△は減少)	4,508
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,758
その他	△6,574
小計	62,344
利息及び配当金の受取額	1,492
助成金の受取額	26,415
法人税等の支払額	△114,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	△23,997
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,287
無形固定資産の取得による支出	△31,144
敷金及び保証金の回収による収入	36,786
敷金及び保証金の差入による支出	△1,617
従業員に対する貸付けによる支出	△1,100
従業員に対する貸付金の回収による収入	1,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,118
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△39,279
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,486
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△64,645
現金及び現金同等物の期首残高	3,740,104
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	33,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,708,764

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、システム検証事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社グループの提供している事業はシステム検証サービス業でありますので、事業上の特性から生産実績を示すことは困難であるため記載しておりません。

②受注及び販売実績

当第2四半期連結累計期間の受注及び販売実績をサービス別に示すと、次のとおりであります。

サービス別	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	販売高 (千円)
開発支援検証サービス	2,404,239	812,201	2,581,160
認定支援サービス	14,192	6,350	7,842
検証情報サービス	79,885	14,124	85,503
製品検証サービス計	2,498,317	832,675	2,674,506
セキュリティ検証サービス	46,030	30,330	19,960
その他のサービス	58,981	21,911	54,576
合 計	2,603,329	884,916	2,749,044

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注) 2. 当第2四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第2四半期連結累計期間	
	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社デンソー	581,438	21.2
パイオニア株式会社	386,832	14.1
ソニー株式会社	300,012	10.9